

訓練名称の整理について
(第2回意見交換における宿題回答事項)

2022年7月7日
関西電力株式会社
四国電力株式会社
九州電力株式会社

- 2022年4月8日に実施された、第2回意見交換会合における宿題事項のうち、「訓練を整理する上で各社共通の訓練名称を使用するなど、誤解が生じないように工夫を図ること」に関して、重大事故等対策に係る訓練を実施している3社による整理を実施した。
- 整理にあたっては、原子力事業者防災業務計画や保安規定に定めている訓練を対象に訓練体系を整理し、分類ごとに各社訓練名称を併記した。
- 具体的な整理結果は、次ページ以降に記載のとおり。

2. 3社が共通して実施している訓練内容 (1/2)

原子力事業者防災業務計画/ 保安規定に定める訓練名	各社訓練名	判断 能力	実動 能力	情報 共有	
炉規法	1. 重大事故等対策				
	現場訓練による有効性評価の成立性確認 代表事故シーケンスの個別手順を確認するとともに、事故対策本部、中央制御室、現場操作間の連携を確認し、成立性を確認	関西：現場シーケンス訓練	-	○	○
		九州：成立性の確認訓練(現場シーケンス訓練)			
		四国：現場シーケンス訓練			
	技術的能力の成立性確認 有効性評価のクリティカルとなる対応手段について現場操作の個別手順の成立性を確認	関西：個別手順訓練	-	○	-
		九州：成立性の確認訓練(技術的能力)			
		四国：クリティカルパス訓練			
	机上訓練による有効性評価の成立性確認 現場操作主体の動き、連携の成立性を確認	関西：机上訓練	-	○	-
		九州：成立性の確認訓練(机上訓練)			
		四国：机上シーケンス訓練			
	中央制御室主体の操作に係る成立性訓練 (シミュレータによる成立性確認) 中央制御室主体の個別手順、動き、連携の成立性を確認	関西：シミュレータ訓練	○	○	-
		九州：成立性の確認訓練(中央制御室主体)			
		四国：シミュレータによる成立性確認訓練			
	力量の維持向上のための教育訓練 事象の種類および事象の進展に応じて的確かつ柔軟に対処するために必要な力量の維持向上	関西：力量維持向上訓練	○	○	-
		九州：力量の維持向上のための教育訓練			
		四国：力量の維持向上のための教育訓練			
	2. 大規模な自然災害または故意による大型航空機の衝突その他テロリズムへの対応における事項				
	技術的能力の確認訓練 大規模損壊発生時に必要な措置を実施するために必要な技術的能力(本部指揮者判断)を満足することを確認	関西：大規模損壊訓練	○	○	○
九州：技術的能力の確認訓練(大規模損壊対応)					
四国：大規模損壊発生時の技術的能力の確認訓練					
APC等の成立性の確認訓練 APC等時の事故シナリオの操作条件を満足するような確実な対応ができることを確認	関西：APC訓練	-	○	-	
	九州：APC等時の成立性の確認訓練				
	四国：APC等時の成立性の確認訓練				

2. 3社が共通して実施している訓練内容 (2/2)

原子力事業者防災業務計画/ 保安規定に定める訓練名		各社訓練名	判断 能力	実動 能力	情報 共有
原 災 法	事業者防災訓練（総合訓練） 社内外関係箇所と連携した、緊急時対応の総合的な演習 （活動習熟、課題抽出、改善策の検証等）	関西：事業者防災訓練	○	○	○
		九州：防災訓練			
		四国：総合防災訓練			
原 災 法	事業者防災訓練（要素訓練） 総合訓練にあわせて、右記の活動を実施（または個別実施）	（関西）本部運営、アクシデントマネジメント対応、全交流電源喪失対応、原子力緊急事態支援組織対応、通報連絡、原子力災害医療、緊急時モニタリング、発電所退避誘導	○	○	○
		（九州）AM訓練、緊急時対応訓練、緊急事態支援組織対応訓練、通報訓練、原子力災害医療訓練、モニタリング訓練、避難誘導訓練			
		（四国）防災訓練、AM訓練、緊急時対応訓練、緊急事態支援組織対応訓練、通報訓練、原子力災害医療訓練、モニタリング訓練、避難誘導訓練			
原 災 法	地方公共団体が主催する訓練 社内外関係箇所と連携した総合的な演習や原子力防災要員の自治体への派遣等、自治体の訓練にあわせて実施	関西：自治体防災訓練	○※	○	○
		九州：自治体主催原子力防災訓練			
		四国：自治体が主催する防災訓練			
そ の 他 （ 防 災）	I型訓練 事故状況に応じた臨機の対応のために、指揮者の判断能力を向上（想定外事象への対応）	—	○	○	○
	II型訓練 現場の対応能力向上訓練、事業者間相互評価	—	—	○	—

※各社が実施する訓練内容による。